

**製品名: CDK2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81108**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	33.9kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CDK2
別名	p33
遺伝子 ID	1017.0
SwissProt ID	P24941
免疫原	大腸菌で発現したヒト CDK2 の精製された組み換え断片。

**背景**

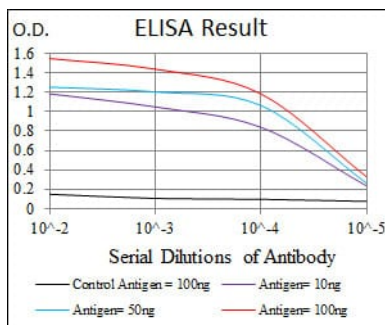
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーのメンバーです。このタンパク質キナーゼは、*S. cerevisiae* cdc28 および *S. pombe* cdc2 の遺伝子産物と高い類似性を示します。サイクリン依存性タンパク質キナーゼ複合体

の触媒サブユニットであり、その活性は G1-S 期に限定され、細胞周期の G1/S 期遷移に必須です。このタンパク質は、サイクリン A または E、CDK 阻害剤 p21Cip1 (CDKN1A)、p27Kip1 (CDKN1B) などの複合体の調節サブユニットと会合し、制御を受けます。また、その活性はタンパク質リン酸化によっても制御されます。この遺伝子には、2つの選択的スプライシングバリエーションと複数の転写開始部位が報告されています。

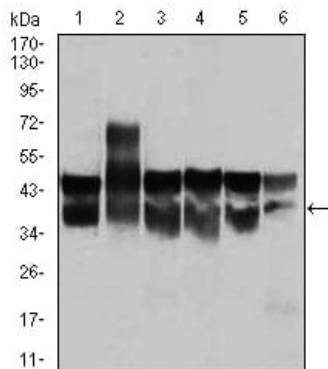
## 研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路、mTOR シグナル伝達経路

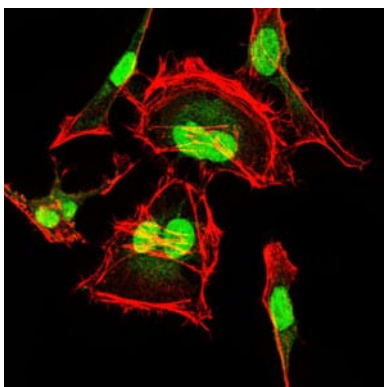
## 画像データ



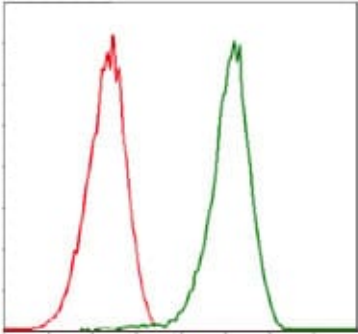
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



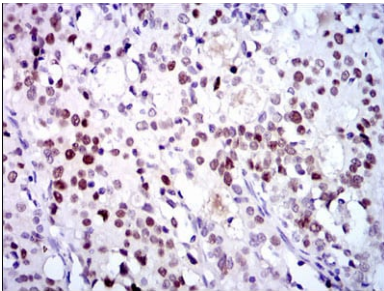
Jurkat (1)、HL-60 (2)、K562 (3)、A431 (4)、HeLa (5)、および NIH3T3 (6) 細胞溶解物に対する CDK2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



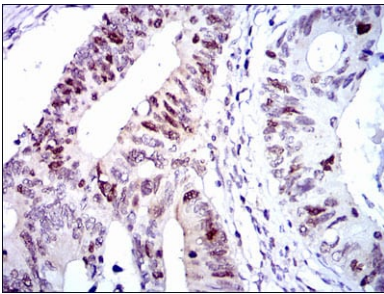
CDK2 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。赤: アクチンフィラメントを Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識。



CDK2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による CDK2 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による CDK2 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。